

都市・地域計画研究室

教員名：片山健介

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

都市・地域計画研究室では、行政、民間企業、住民などその場所に関わる人達が協力しながら、よりよい都市・地域をつかっていくための**地域計画・まちづくりの制度や協働の仕組み**について研究しています。

対象とする空間スケールは、「まち」から都市、都市圏など多様ですが、特に都市・地域のつながりを考える**広域的視点**を重視しています。

研究テーマの例：人口減少・環境共生時代の地域づくり

多くの都市では、交通手段の発達によって人々の**生活圏が拡がり**、市街地も**市町村を越えて**拡大しました。しかし、人口減少時代に入り、**中心市街地の衰退**、自動車依存による**CO₂排出の増大**、郊外での**生活サービスの低下**などの問題が生じています。こうした問題の解決には、関係市町村や国・都道府県、民間事業者などの様々な主体が協力していくことが求められます。

研究室では、住みやすく環境にやさしい都市・地域構造の実現に向けた**地域計画・地域政策の手法**や、関係主体が**どのように連携していくのか**について、長崎を含む国内外の都市圏の事例を研究し、これからの日本の地域づくりに役立てようとしています。



コンパクトシティと
公共交通施策（富山市）



中心市街地活性化と
低炭素まちづくり（北九州市）



Rural-Urban Partnership と
都市圏計画（レンヌ都市圏）

● 先輩はどんなところに就職しているの？

2014 年度に開設された研究室ですので、まだ卒業生は少ないですが、官公庁（地方公務員）、銀行、商社、旅行業、小売業、生命保険などの民間企業に就職しています。また、大学院に進学した先輩もいます。